

# 海洋文化セミナー（第一回国際舟文化プレサミット協賛イベント）

トヨタ財団アジア隣人ネットワークプロジェクト

環フィリピン海文化復興ネットワークの構築

—伝統的航海術の実践的研究支援を中心として—

約400年前に大航海時代を迎えて以来、近代航海術は飛躍的に発展していますが、一方でそのはるか昔に太平洋に点在する島々には、石器時代のままの姿で大海原を何千キロにも及ぶ航海を成し遂げ、前人未踏の島々へ移住した人々がいたことがわかっています。現在のポリネシア人の祖先たちです。このたび、これらの伝統的航海術の継承や伝統文化復興ルネッサンスのために日本、グアム、台湾およびフィリピン間において人的ネットワーク構築を目的としたプロジェクト（トヨタ財団アジア隣人ネットワーク）の一環でマニー・シカウ氏（プルワット出身の大航海士）、ローレンス・カニンガム氏（グアム大准教授）のお二人が来日されます。そこで、(独)水産大学校において水産・漁撈技術とも密接に関わる海洋文化に関する特別講演会を開催し、プロジェクトリーダー後藤明氏（南山大学人文学部教授、海洋文化人類学）、内田正洋氏（海洋ジャーナリスト）に解説をいただき、セミナー形式での講演会を実施します。

## プログラム

日時：平成19年7月14日（土） 14:00-17:00  
場所：独立行政法人水産大学校 国際交流会館2階 大研修室（来聴自由）  
主催：独立行政法人水産大学校

開会挨拶（14:00-14:05）（独）水産大学校 校長 本村 紘治郎

### 1. 太平洋を越える夢（14:05-15:05）

・太平洋を旅するモンゴロイド

後藤 明（プロジェクト代表、南山大学人文学部・人類文化学科教授、  
オセアニアや東南アジアの海洋文化人類学）

・プルワットから見えたヤポネシア

内田正洋（海洋ジャーナリスト、日本リクレーショナルカヌー協会理事、  
日本シーカヤッカーの草分け）

### 2. 特別講演（15:15-16:15）

「星の歌に導かれて ～人類の英知を繋ぐ伝統航海術～」

Manny Sikau（プルネット出身の大航海士、在グアム、  
伝統航海術協会およびグアム大学で航海術の体験指導、  
プルワット式伝統カヌーQuest号航海キャプテン、大航海師  
(Pwo)の称号を持つ）

Lawrence Cunningham（グアム大学准教授、グアム大学リチャード・フローレス  
マイクロネシア地域研究センター研究員、在グアム、  
マイクロネシア航海協会顧問）

### 3. 事例報告（16:25-16:55）

・シーカヤックの旅・瀬戸内海横断隊

野村誠司（カヤックガイド、下関から日本海を北上する古代人ツアー継続中）

・古代船「海王」の挑戦

下川 伸也（独立行政法人水産大学校准教授、大王のひつぎ実験航海航海隊長）

閉会挨拶（16:55-17:00）

# 海洋文化セミナー (第一回国際舟文化プレサミット協賛イベント)

平成19年7月14日(土)

14:00~17:00

(独)水産大学校 国際交流会館大研修室



沖縄



台湾

フィリピン

グアム島

マーシャル諸島

サタフル島

ミクロネシア連邦

ブルワット島

インドネシア

